

阿南工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	文献講読
科目基礎情報						
科目番号	1794301		科目区分		専門 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2	
開設学科	情報コース		対象学年		4	
開設期	通年		週時間数		2	
教科書/教材	英語論文すぐに使える表現集 (ベレ出版) /指導教員が用意する					
担当教員	福田 耕治,田中 達治,杉野 隆三郎,吉田 晋,岡本 浩行,福見 淳二,安野 恵実子,平山 基,太田 健吾					
到達目標						
1. 英語論文に適した英文を作成することができる。 2. 英語論文作成に必要な知識、表現を習得し、英文による学術論文の概要を作成することができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		最低限の到達レベルの目安(可)	
到達目標1	英語論文に適した英文を自ら作成することができ、英文で議論を展開できる。		英語論文に適した英文を自ら作成することができる。		英語論文に適した英文を指示に従いながら作成することができる。	
到達目標2	英論文作成に必要な知識、表現に基づき、英文学術論文の概要を自ら作成することができる。		英文学術論文の概要を自ら作成することができる。		英文学術論文の概要を指示に従いながら作成することができる。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	学術論文を英語で作成するために必要な知識、表現を習得し、適切な論理展開で英文の学術論文概要を作成することができる。					
授業の進め方・方法						
注意点	最低要件として、自分が取り組む卒業研究のテーマについての英語のアブストラクトを書き、その概要を英語で発表できる知識とスキルを身に付けるため、良質かつ論理的な英文に数多くあたる努力をしてほしい。また、一般教養英語科が提供するネイティブによる英文チェック等の英語力向上プログラムに積極的に参加すること。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1. 英語論文の構成		1. 英語論文の構成を理解し、説明することができる。	
		2週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		3週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		4週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		5週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		6週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		7週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		10週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		11週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		12週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		13週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		14週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		15週	2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現		2. 論文の骨組みとなる基本的な英語表現を用いて論理的な英語の文章を組み立てることができる。	
		16週	答案返却			
後期	3rdQ	1週	3. 議論を的確に展開する英語表現		3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。	
		2週	3. 議論を的確に展開する英語表現		3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。	
		3週	3. 議論を的確に展開する英語表現		3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。	
		4週	3. 議論を的確に展開する英語表現		3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。	

		5週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		6週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		7週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		10週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		11週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		12週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		13週	3. 議論を的確に展開する英語表現	3. 議論を適切に展開できる英語表現を用いて、英語による学術的議論を展開することができる。
		14週	4. つなぎ等に使える便利な英語表現	4. つなぎ等に使える便利な英語表現を用いて、豊かな表現による英語論文を組み立てることができる。
		15週	4. つなぎ等に使える便利な英語表現	4. つなぎ等に使える便利な英語表現を用いて、豊かな表現による英語論文を組み立てることができる。
		16週	答案返却	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	定期試験	小テスト	レポート・課題	発表	その他	合計
総合評価割合	12	88	0	0	0	100
基礎的能力	6	44	0	0	0	50
専門的能力	6	44	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0